

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第6回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成29年3月21日（火）午後7時 ～ 8時30分
開 催 場 所	中部地区会館405会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：渡辺龍也、高橋誠、北口良夫、瀬口圭志、比留間毅浩、高尾典之 欠席者：清野智美、比留間多一、本間由美子、前田啓子 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
議 題	議題1 平成28年度協働事業提案制度実施事業報告会実施要領について 議題2 平成29年度協働事業提案制度募集要項について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1 平成28年度協働事業提案制度実施事業報告会実施要領について ・実施要領で定めている評価項目と採点表の文言を統一する。 ・計画通りに実施できた場合を4として、評価基準を修正する。 修正した内容は座長と副座長で確認して決定する。 議題2 平成29年度協働事業提案制度募集要項について ・提案書類については、事務局が応募要件等のチェックを行い、不備がなければ一次選考は行わないものとする。ただし、制度の趣旨に合致しているかどうか協議が必要な事業があった場合は、推進会議に諮るものとする。 ・応募資格について、設立年数5年未満と前年度の決算100万円未満という要件は削除する。「5人以上の者で組織されている」という要件は、「5人以上の会員がいる」という表現に改める。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発信者） □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局	議題1 平成28年度協働事業提案制度実施事業報告会実施要領について □ 昨年度との変更点は。 ● 特に無い。 □ 傍聴者も質問できるのか。 ● 必要に応じて座長から傍聴者に質問を促していただいても構わない。 □ 実施要領で定めている評価項目と採点表の文言が少し違う部分がある。修正して統一していただきたい。 ● そのように対応する。 ○ 自己評価書に自由記述欄があるが、空欄で提出されたらどのように評価すれば良いのか。 ● 自由記述欄も評価の対象になるので、必ず記入するように伝える。 ○ 当初の計画に対する達成度合いによる評価基準を示していただいたが、各項目に数値目標があるわけではないので、達成度合いにより評価するのは難しい。また、高い目標を掲げた団体は低い評価になりやすくなってしまう。 ● 昨年度の報告の際に、団体と担当課で解釈に違いがあり、同じ項目の自己評価が大きく異なるということがあった。3を基準にして、計画以上の成果が得られた場合は4や5、計画よりも成果が得られなかった場

合は2や1にしてはどうかと考え提案したものである。

□ 当初の計画通りに実施できて3というのは厳しい。ある程度の成果を出しながら課題を残しているというのが3ではないか。計画通りに実施できた場合を4として、評価基準を修正していただきたい。

● そのように対応する。修正したものは座長と副座長にお見せして決定するという事で良いか。

-異議なし-

□ 決算書の様式は欄が狭いので、別紙で積算根拠を示していただくようにしてもらいたい。

● そのようにする。

○ 次年度と次々年度の予算を記入しない団体もある。

○ 協働事業が終了するにしても、書ける範囲で、自己財源等を基にした予算の想定を書いていただきたい。

● そのようにする。

○ 天候不良等により予定していた事業を中止した場合はどのように評価すれば良いか。

● 中止になった理由を明記していただき、それを見て評価していただきたい。

議題2 平成29年度協働事業提案制度募集要項について

□ これまでに一次審査で不採択になった事業はあるのか。

● 無い。26年度に要綱を改正し、応募団体が10団体以下だった場合は一次審査を行わなくても良いようにした。28年度は応募団体が4団体だったため一次審査は行わず、中間報告会を実施した日に、提案書類を基に意見交換をする程度に留めた。

○ 書類については事務局に応募要件等のチェックをしてもらい、不備がなければ審査まで行わなくて良いのではないか。

□ 制度の趣旨に合致しているかどうか協議が必要な事業があった場合は、推進会議に諮るようにはしていただきたい。

● 必要に応じて開催する。

○ 中間報告会はどのような意図で実施するのか。

● 他の団体がどのような取組をしているかなど、ざっくばらんに情報交換や意見交換ができる場を設けたいと考えている。28年度は初めての試みだったこともあり、手探りの状態で実施したため、結果的にプレゼンテーションや事業報告会のような堅い雰囲気になってしまった。これは反省点であると考えている。

○ 各団体の悩みや課題、他の団体に聞いてみたいことなどをあらかじめ吸い上げてはどうか。

● より有意義な形で実施できるように検討する。

□ 団体育成型は、団体を設立して5年未満であることが応募要件になっているが、小さな規模で長年活動してきた団体もあるかもしれない。

○ 補助金を活用している団体もあるので、前年度の決算が100万円未満であるという要件も無い方が良いのではないか。

○ 5人以上の者で組織されていることというのもハードルが高いのではないか。少ない人数で活動している団体もあるだろう。

□ 設立年数5年未満と、前年度の決算100万円未満という要件は削除してはどうか。また、人数については、5人以上の会員という表現に変

	<p>えてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 協働型と団体育成型が同じ要件になるが良いか。 <p>-異議なし-</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指摘のあったように対応する。 □ 募集要項に、本制度で想定する事業例というのが掲載されているが、いずれの事業例もとてもハードルが高く感じる内容なので、削除したほうが良い。 ● そのように対応する。
--	--

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者： _____ 0 人
-----------------	---	----------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____)
------------------	---

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線： 242)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)